



7月になりました。今年度も主に夏休み中に体験学習を行います。ふだんは机の前に座って、国語や算数、英語の勉強をしています。時にはそれから離れて、物を作ったり、身体を動かしたりして気分転換しましょう。宇和島美容教室の「美容教室」は初めてで、とても楽しみです。ネイルチップを作ったり、ボディジュエリーなどをするそうです。



体験学習に参加して、楽しみましょう!



今年度予定	小学生	中学生
鶴島教室	8 / 30 泥だんご作り教室	8 / 9 ハワイの文化(フラダンス)教室
明倫教室	12 / 6 心理学教室	
和霊教室	8 / 9 四国ガス実験室	
吉田教室	8 / 9 おもしろ実験室	8 / 23 美容教室
三間教室	8 / 23 ドローン教室	10 / 18 トヨタ自動車教室
岩松教室	8 / 2 伯方の塩作り教室	8 / 2 美容教室



伯方の塩作り



ハワイの文化



木工小物入れ作り

読書のすすめ

青春の門

高木恭三

毎夜、寝る前の時間にベッドに横たわりながら、本を読む。それは一日の最後のぜいたくなひととき。僕は読書が好きだ。周りを本に囲まれた図書館や本屋さんに行くと、何か宝物の中にいるような気分になる。子どもの頃、誕生日とかに母親が本をプレゼントしてくれた。ケースに入っている分厚い本で、ピーターパンやピノキオの物語を読んだ記憶がある。それが、僕の本を読むことが好きになっただけかもしれない。

最近、たぶん五十年近くぶりに、五木寛之の「青春の門」を読んでいる。第一部の「筑豊篇」に始まり、今は第七部の「挑戦篇」に入っている。福岡県の炭鉱町に生まれた主人公・伊吹信介の少年時代から青年時代にかけての物語で、様々な人と出会い、様々なことに苦悩する一人の人間の生き様が描かれている。それは若き日、誰もが通らなければならぬ「青春の門」で、主人公の気持ちに共感するとともに、自分が若かった頃のことを頭の中にスーと蘇り、何か切ない気持ちになるのだ。

五木寛之さんはすでに92才になっているが、数年前に第九部「漂流篇」を出されていてこの物語を完結することを一生のライフワークにされているようだ。最後まで読みたいと思っている。